

授業科目	精神保健福祉援助演習Ⅲ				単位	1				
履 修	選択	関連資格	精神保健福祉士			ナンバリング	WE31309J			
開講年次	4年	開講時期	通年	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP4-3 DP5-1 DP5-2					
担当教員	今村 浩司、高口 恵美									
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>精神保健福祉援助演習Ⅰ・Ⅱ等の、精神保健福祉援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れ、精神障害者の生活や生活上の困難について把握をしていく。また、精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を身につけることを目的とする。さらに、総合的かつ包括的な相談援助、医療との協働・連携する相談援助に係る具体的な相談援助事例を体系的に取り上げ、精神保健福祉援助実習2の体験を踏まえて、学生個人の体験を集団指導の中で一般化する。</p> <p>精神保健福祉領域で相談援助を実践してきた実務家教員として、個別指導並びに集団指導を通して、疑似的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を中心とする演習形態で行いながら、より具体性を高めていく。現実的状況理解促進のため、外部講師（ピアサポーターも含む）も招聘する予定である。</p>									
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神障害者の生活や生活上の困難について把握し、説明できる。 2. 精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について習得し、実践できる。 3. 専門的援助技術として概念化し理論化し、体系立てていくことができる。 									
達成度評価										
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考		
総合評価割合	0	0	0	20	0	80	100			
知識・理解 (DP1-1)				5			5			
知識・理解 (DP1-2)				5			5			
知識・理解 (DP1-3)										
知識・理解 (DP1-4)										
思考・判断 (DP2-1)				5		5	10			
思考・判断 (DP2-2)				5		5	10			
関心・意欲 (DP3-1)						10	10			
関心・意欲 (DP3-2)						10	10			
態度 (DP4-1)						10	10			
態度 (DP4-2)						10	10			
態度 (DP4-3)						10	10			
技能・表現 (DP5-1)						10	10			
技能・表現 (DP5-2)						10	10			
技能・表現 (DP5-3)										
具体的な達成の目安										
理想的レベル					標準的なレベル					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神障害者の生活や生活上の困難について把握し、理解したうえで説明できる。 2. 精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について習得し、理解したうえで実践できる。 3. 専門的援助技術として概念化し理論化し、体系立てていくことが理解したうえでできる。 					<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神障害者の生活や生活上の困難について把握し、説明できる。 2. 精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について習得し、説明できる。 3. 専門的援助技術として概念化し理論化し、体系立てていくことが説明できる。 					

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	以下の事例及び精神保健福祉援助実習2で体験してきた事を題材として、毎回相談援助場面及び相談援助の過程(インテーク、契約、アセスメント、プランニング、支援の実施、モニタリング、効果測定と支援の評価、終結とアフターケア)を想定したグループ討議及びロールプレイング等を用いて、アウトリーチ、ケアマネジメント、チームアプローチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発等の実技指導を行う。 社会的排除事例	講義形式や集団指導、個別指導	毎時間、課題を指示	30～60
2	退院支援	講義形式や集団指導、個別指導	毎時間、課題を指示	30～60
3	地域移行	講義形式や集団指導、個別指導	毎時間、課題を指示	30～60
4	地域生活継続	講義形式や集団指導、個別指導	毎時間、課題を指示	30～60
5	ピアサポート	講義形式や集団指導、個別指導	毎時間、課題を指示	30～60
6	地域における精神保健(自殺)事例	講義形式や集団指導、個別指導	毎時間、課題を指示	30～60
7	ひきこもり事例	講義形式や集団指導、個別指導	毎時間、課題を指示	30～60
8	児童虐待事例	講義形式や集団指導、個別指導	毎時間、課題を指示	30～60
9	薬物・アルコール依存事例(外部講師)	講義形式や集団指導、個別指導	毎時間、課題を指示	30～60
10	教育、就労(雇用)事例(外部講師)	講義形式や集団指導、個別指導	毎時間、課題を指示	30～60
11	貧困、低所得、ホームレス事例(外部講師)	講義形式や集団指導、個別指導	毎時間、課題を指示	30～60
12	精神科リハビリテーションについて精神保健福祉援助実習2後	講義形式や集団指導、個別指導	毎時間、課題を指示	30～60
13	精神保健福祉援助実習における学生の個別的体験の一般化を図るため、グループ討議	講義形式や集団指導、個別指導	毎時間、課題を指示	30～60
14	精神保健福祉援助実習における学生の個別的体験の一般化を図るため、グループ討議	講義形式や集団指導、個別指導	毎時間、課題を指示	30～60
15	個別面接による実習事後指導	講義形式や集団指導、個別指導	毎時間、課題を指示	30～60
16				
17				
18				

19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	精神保健福祉に関するすべての講義、実習、実習指導、演習の内容を、今一度確認して臨んでください。3年次の「精神保健福祉援助実習Ⅰ」、4年次の「精神保健福祉援助実習Ⅱ」を履修する学生のみが履修できます。			
テキスト	特に定めません。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「我が国の精神保健福祉」厚労省障害保健福祉部精神・傷害保健課監修最新版			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	実習に向けて各自で、予備自主学習をすすめてください。			
達成度評価に関するコメント	授業貢献度 プレゼンテーションにて評価します。 その他については、具体的な実践場面を想定した実技指導(ロールプレイ等)やグループワークの内容、積極性や参加意欲も併せて評価します。			